

成安造形大学附属

2024 近江学研究所

Omi Multicultural Institute

特集1

近江学を学ぶ

2024年度公開講座

近江から未来のコミュニティの
かたちを考える3つの講座と
湖国の風景を描く2つの写生会

特集2

近江学に集う

2024年度「近江学フォーラム」 会員募集のご案内

テーマ「惣はじまりのコミュニティ」
近江のコミュニティをみつめる
5つの会員限定講座

近江学研究所について

近江学研究所の理念

県内唯一の芸術大学として「芸術による社会への貢献」を基本理念(教育理念)とする成安造形大学が主唱する「近江学」は、近江という地域が持つ固有の風土を改めて深く検証する学問です。成安造形大学附属近江学研究所は、2008年4月に設立されました。近江固有の文化・風土が内包する「豊かさ」を深く掘り下げ、21世紀の社会に活かせる普遍的な価値観を見出し、そして芸術の持つ創造精神と結びつけ、新たな可能性を探索します。

研究活動紹介

研究所の役割である、研究・教育・地域貢献の3つの柱を具体的に実践し推進しています。

- ◎調査、研究
- ◎研究成果のデータベース構築
- ◎公開講座の開催
- ◎地域とつながる学内基礎教育プログラムの充実
- ◎生涯学習システムの構築
- ◎共同研究による地域貢献
- ◎文化誌「近江学」の発行
- ◎研究紀要の発行
- ◎近江学研究所WEBサイトの運営
- ◎県内文化施設とのネットワークの構築
- ◎会員制「近江学フォーラム」の運営

2024年度 役職者・研究員(50音順)

顧問：木村至宏〔成安造形大学名誉教授〕
所長：小嵯善通〔成安造形大学教授・学長〕
副所長：加藤賢治〔成安造形大学教授・副学長〕

参与：

石丸正運〔公益財団法人秀明文化財団専務理事〕
今森光彦〔写真家・成安造形大学客員教授〕
上原恵美〔京都橘大学名誉教授〕
岸野 洋〔元公益財団法人滋賀県文化振興事業団理事長〕
武 覚超〔比叡山延暦寺長賜・延暦寺学問所所長・叡山学院名誉教授〕
福家俊彦〔天台寺門宗総本山園城寺(三井寺)長吏〕

客員研究員：

大原 歩〔成安造形大学非常勤講師・京都大学大学院技術補佐員〕
木津 勝〔天津市歴史博物館副館長〕
高梨純次〔公益財団法人秀明文化財団理事(MIHO MUSEUM研究・展示担当)〕
對馬佳菜子〔仏像・地域文化プロデューサー〕
山本晃子〔高島市教育委員会文化財課主監〕
和田光生〔天津市文化財保護課主査〕

研究員：

石川 亮〔成安造形大学准教授〕
小嵯善通〔成安造形大学教授・学長〕
加藤賢治〔成安造形大学教授・副学長〕
田口真太郎〔成安造形大学助教〕
永江弘之〔成安造形大学教授〕
真下武久〔成安造形大学准教授〕
三宅正浩〔成安造形大学准教授〕

※参与・客員・研究員の役職等は、2024年3月10日現在を記載しています。

近江学を 探る

附属近江学研究所
小嵯善通



附属近江学研究所
ロゴマーク



「近江のコミュニティ『惣・座・講』研究プロジェクト」 2023-2025年度

2023年度から3ヶ年かけて取り組む研究プロジェクト。近江におけるコミュニティのかたちを、1年目は地縁・血縁＝「惣(そう)」、2年目は生業＝「座(ざ)」、3年目は趣味・嗜好＝「講(こう)」とテーマづけ改めて見つめ直し、現代に活かすべきコミュニティの大切な要素を検証します。

2024年度研究テーマ 座―なりわいのコミュニティ



近江商人の町並み(新町通り) | 写真:(公社)びわこビジターズビューロー
※写真はイメージです。

特集1 近江学を学ぶ

公開講座 | 詳細・お申込みは3-6ページをご覧ください

要申込・受講料:1講座につき500円 | ※2024年度近江学フォーラム会員は無料(特別公開講座は除く)

特別公開講座

A

4月27日[土] 成安造形大学附属近江学研究所 設立15周年記念 特別公開講座
「コモンの再生」内田 樹 氏

公開講座 近江のかたちを明日につなぐ

I

6月15日[土] 近江―はじまりのかたち
「近江の惣村 自治コミュニティのはじまり」水野章二 氏

ウ

11月23日[土・祝] 近江―つながりのかたち
「自主防災でつながる新たなコミュニティのかたち」深町加津枝 氏

淡海の夢写生会

E

5月18日[土] 仰木・棚田里山写生会 | 永江弘之 ほか本学教員

オ

10月12日[土] 堅田・湖族の郷写生会 | 永江弘之 ほか本学教員

特集2 近江学に集う

近江学フォーラム・会員限定講座 | 詳細・お申込みは7-10ページをご覧ください

会員制・年会費5,000円

特集テーマ:惣 はじまりのコミュニティ

「近江学フォーラム」は、本研究所の研究・教育活動、文化振興活動に広く一般の方にも参加していただく目的で、2009年4月に設立しました。1年を通して、1つのテーマを多角的に深く学びます。



会員限定講座

A

6月1日[土] 「近江の「惣」―堅田惣荘と金森寺内町―」草野顕之 氏

B

7月27日[土] 「惣―私たちの公―」水本邦彦 氏

C

9月28日[土] 「旧瑞峯院方丈襖絵「堅田図」にみる中世堅田の暮らし」和田光生 氏

D

12月7日[土] 「水・山と暮らす―近江における近世の村落」東 幸代 氏

E

3月8日[土] 「『惣』から、『座』、『講』へ―近江学研究所のこれから」加藤賢治、石川 亮 ほか

会員限定現地研修

F

10月26[土] 「伝説の宝庫 堅田を歩く」

近江学は、近江という地域固有の風土を改めて検証する学問です。20世紀後半の日本人は、大量消費・大量廃棄の暮らしをひたすら追い求め、優れた素材や技術、豊かな暮らしの知恵や自然観を切り捨ててきました。この50年間に私たちが失ったものに思いをめぐらせ、過去の記憶を手がかりに、ごくあたり前のものの内にひそむ美しさ、かけがえのなさ、本来の豊かさを未来に向けて再生しなければなりません。文化とは人の営み、すなわち「暮らしのかたち」のことです。本年は、近江学研究所設立15周年記念の特別公開講座や「近江のかたちを明日につなぐ」と題した連続公開講座、歴史文化あふれる地域での写生会を開講します。公開講座を通じて、近江が持つ特性を再発見し、未来へ向けたあらたな価値観の創造につながればと願っています。

成安造形大学附属近江学研究所

特別公開講座

受講料：500円 | ※2024年度近江学フォーラム会員も有料となります。

記号 **ア**

4月27日[土] 14:00–15:30 (13:30受付開始)

成安造形大学附属近江学研究所設立15周年記念特別公開講座

「コモンの再生」

講師：内田 樹 氏 | 凱風館 館長・神戸女学院大学 名誉教授

会場：成安造形大学

対象：中学生以上 | 定員：180名 | 申込締切日：4月12日[金] 必着

〔講演内容〕

2020年のコロナ禍を経て、特に地域コミュニティの大切さが浮かびあがってきました。近代社会は、近世集落のようなコモン(共同体)を解体して、資本主義社会の発展を築いてきましたが、コモン(共同体・地域コミュニティ)の希薄化が人口減少に伴って大きな社会問題となってきています。現在、近江学研究所では、この3ヶ年でコミュニティをテーマに研究を進めています。2年目となる今年の特別公開講座に内田樹先生にご登壇いただき、「コモンの再生」と題して、近江に限らず全国各地に残るコモン(共同体・地域コミュニティ)を維持するためには何が必要かという内容を中心に、コミュニティの本質からその重要性など幅広く語っていただきます。

〔講師プロフィール〕

1950年東京生まれ。東京大学文学部仏文科卒、東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程中退。東京都立大学人文学部助手、神戸女学院大学文学部助教授を経て同教授。2011年退職後、神戸に武道と哲学研究のための学塾凱風館を設立。専門はフランス文学・哲学、武道論、教育論。合気道七段。主著に『ためらいの倫理学』、『寝ながら学べる構造主義』、『レヴィナスと愛の現象学』、『死と身体』、『武道論』など。第六回小林秀雄賞(『私家版・ユダヤ文化論』)、2010年度新書大賞(『日本辺境論』)、第三回伊丹十三賞を受賞。近著に『レヴィナスの時間論』、『街場の米中論』など。

《同日開催イベント》

成安造形大学附属近江学研究所設立15周年記念事業

「近江学の日」

設立15周年を記念して内田樹氏による特別公開講座をはじめ、
大津絵を学ぶワークショップ、「MUSUBU地図」の展示&ツアーガイド、
研究員との交流イベントといった様々なイベントを開催いたします。
お子様から大人の方まで「近江学」の魅力をたっぷり感じていただける
特別な1日です。みなさまのご参加をお待ちしています。

※事前申込が必要なイベントがあります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。



特集1 近江学を学ぶ
公開講座
—要申込・有料(1講座500円)—

近江学を学ぶ

公開講座「近江のかたちを明日につなぐ」

受講料：1講座につき500円 | ※2024年度近江学フォーラム会員は無料

6月15日[土] 11:00–12:30 (10:30受付開始)

近江—はじまりのかたち

「近江の惣村 自治コミュニティのはじまり」

講師：水野章二 氏 | 滋賀県立大学名誉教授

会場：成安造形大学 | 対象：中学生以上 | 申込締切日：5月31日[金] 必着

〔講演内容〕

近江は惣村の宝庫と言われ、その名残を各地で見ることができます。惣村とは、一般に中世後期の自治性の高い村落のことを指し、祭礼や年中行事を行い、強いつながりを維持してきました。この講座では、水野先生に湖東蒲生野の「今堀」、琵琶湖の最北端葛籠尾崎の先端近くの「菅浦」など近江を代表する中世自治村落をご紹介いただきながら、強い規制力を作り出し、紛争や飢饉、自然災害を乗り越えてきた村落の姿を眺め、人々の知恵を探ってみたいと思います。

〔講師プロフィール〕

1954年、名古屋市生まれ。京都大学文学部・同大学院文学研究科博士課程修了。博士(文学)。滋賀県立大学名誉教授・滋賀大学経済学部附属史料館客員研究員。専攻は日本中世史。中世の村落・荘園の実態分析や環境史・災害史研究に取り組んでいる。主な著書は『日本中世の村落と荘園制』(校倉書房)・『中世の人と自然の関係史』(吉川弘文館)・『里山の成立』(吉川弘文館)・『災害と生きる中世』(吉川弘文館)などがある。

記号 **イ**



水野章二 氏



菅浦の集落 | 写真：辻村耕司

記号 **ウ**

11月23日[土・祝] 11:00–12:30 (10:30受付開始)

近江—つながりのかたち

「自主防災でつながる新たなコミュニティのかたち」

講師：深町加津枝 氏 | 京都大学大学院地球環境学堂准教授

会場：成安造形大学 | 対象：中学生以上 | 申込締切日：11月8日[金] 必着

〔講演内容〕

大津市守山地区は、琵琶湖の湖西、比良山系の麓の扇状地に位置し、近世からつながる旧守山集落の住民と、新たにこの地に移住してきた新住民が混在しています。この地域には、祭礼をはじめ伝統的な行事なども受け継がれていますが、新住民の人々をうまく受け入れて、ともに活動する姿が見えてきます。特に、自然災害が年々日常化している近年、この地域では自主防災の取り組みが地域の人々をつないでいます。守山地区に移住してきた当事者である深町先生が、住民の視点で「自主防災会」を核に、様々なつながる地域コミュニティについてお話いただきます。

〔講師プロフィール〕

1966年、埼玉県行田市生まれ。京都大学大学院地球環境学堂准教授。農学博士。主な研究テーマは、京都周辺、琵琶湖湖岸などの里山における人と自然の関係とその変化、景観生態学に基づく地域固有の景観保全、活用の計画のあり方など。生態的な価値と文化的な価値を統合した環境デザインあるいは緑地環境保全のあり方を探求する研究も進めている。共著に『風景の思想』(学芸出版社、2012年)、『景観生態学』(共立出版、2022年)などがある。



深町加津枝 氏



守山自主防災会の活動のようす
写真：永江弘之

淡海の夢2024写生会

受講料：1講座につき500円 | ※2024年度近江学フォーラム会員は無料

琵琶湖を中心とした棚田・里山、湖国の風景は、今、次世代に引き継ぎたい美しく貴重な日本の原風景として広く注目されています。「淡海の夢」は、年2回の写生会と公募風景展を通して、近江の素晴らしさを体感し固有の価値を再発見する講座です。成安造形大学の教員が、風景写生のコツをレクチャーし、鑑賞会を実施します。「プロのアドバイスを受けられるチャンス」とご好評いただいております。ぜひお申込みください。

講師：永江弘之 | 本学教授・近江学研究所研究員
ほか、本学教員が参加予定

対象：どなたでもご参加いただけます。
(ただし、小学生以下は保護者同伴)
定員：各日40名 ※雨天中止



鑑賞会のようす



秋の参道 一大津市坂本日吉馬場 永江弘之

〔講師プロフィール〕
1960年、大阪府生まれ。大阪教育大学教育学部卒業。中学校美術科教諭を経て、2003年成安造形大学講師となり、現在、成安造形大学芸術学部芸術学科イラストレーション領域教授、2008年から同大学附属近江学研究所研究員。近江学研究所公開講座「淡海の夢」(写生会・公募展)企画責任者。近江の風景に魅せられ、色彩感あふれる写実風景画や幻視風景画を制作。

記号 **エ**



仰木の写生会のようす

5月18日[土] 9:30-17:00
仰木・棚田里山写生会

会場：滋賀県大津市仰木周辺
申込締切日：5月7日[火] 必着

仰木は、比叡山から琵琶湖の西岸へと伸びる尾根沿いの農村集落で、1150年の歴史があります。周囲にゆったりと階段状に広がる棚田や雑木林など、人々が守り育ててきた日本の原風景ともいえる風景が魅力です。

〔公募展〕棚田・里山、湖辺の郷 淡海の夢2024風景展

本学のギャラリーアートサイトにて「棚田・里山、湖^{こべ}辺の郷 淡海の夢2024風景展」の開催を12月頃に予定しています。公募内容は8月上旬に、近江学研究所WEBサイトにてご案内いたします。



淡海の夢 風景展のようす

公開講座申込方法

・下記[1] [2] のいずれかの方法でお申込みください。

[1]

WEBサイト「公開講座申込フォーム」から申込

https://www.seian.ac.jp/public

成安造形大学 公開講座

検索



「公開講座申込フォーム」にアクセスしてお申込みください。
お申込みの前には、ページ内に記載されている「受講上の注意」を必ずご確認ください、内容にご承諾のうえお申込みください。

〔公開講座 連絡事項〕

参加証について

◎参加証は、申込締切日より1週間以内に発送します。
◎申込多数の場合は抽選し、当選された方にのみ送付します。
◎締切日以降も募集人数に達していない場合は、先着順で参加証を送付します。

受講料について

◎2024年度近江学フォーラム会員、本学学生は無料です。
◎受講料は当日受付にてお支払いください。

ご来場について

◎本学には公開講座来場者用の駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。
◎乳幼児をお連れの方の参加はご遠慮いただいております。ご了承ください。

その他

◎都合により講座内容を変更または中止する場合があります。
◎大学広報や記録・公開などを目的とし、各講座とも写真・映像の撮影を行います。
◎個人情報参加証の発送、本学からの各種ご案内、個人を特定しない統計情報の収集以外の目的には使用しません。

[2]

添付の申込ハガキ・郵便ハガキ・Eメールで申込

下記1-6を明記のうえ、お申込みください。
※6は該当者のみご記入ください。
(複数名での申込をご希望の場合は1-6を人数分お書きください)
1. 講座記号(ア-オ) / 2. 郵便番号 / 3. 住所 /
4. 氏名(フリガナ) / 5. 電話番号 /
6. 所属(本学学生・教職員の場合)

◎申込先

〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東4-3-1
成安造形大学附属近江学研究所 公開講座係
omigakukouza@seian.ac.jp

◎添付の申込ハガキを使用される場合は切手の貼付が必要です。

キリトリ

成安造形大学附属近江学研究所
2024年度 公開講座申込ハガキ

1. 希望する講座記号(ア-オ / 複数可)

「講演会」

☐ **ア** 特別公開講座(講演：内田 樹氏) ☐ **イ** 近江一はじまりのかたち
☐ **ウ** 近江一つながりのかたち

「写生会」

☐ **エ** 仰木 写生会 ☐ **オ** 堅田 写生会

2. 郵便番号

			—				
--	--	--	---	--	--	--	--

3. 住所

	都道 府県	市区 町村

4. 氏名

(フリガナ)

5. 電話番号

--

6. 所属

☐ 本学学生 ☐ 本学教職員(該当の場合は☑チェックをしてください)

2024年度「近江学フォーラム」 会員募集のご案内

テーマ: 惣 はじまりのコミュニティ

滋賀県(近江)の持つ豊かな自然と歴史、文化に対して、興味・関心のある方、ご自身の持っておられる知識や見聞を深めたい、広げたいとお考えの方が集まる「近江学フォーラム」。年間1つのテーマで学びを深めます。一緒に「近江学」を学びませんか。ぜひお申し込みください。

会員特典1

会員限定講座の受講

近江の歴史、民俗、美術、宗教などに精通する講師による講座です。

会員限定講座: 年間5回

開催時間: 11:00-12:30(10:30受付開始)

会場: 成安造形大学 聚英館3階 聚英ホール

特集2 近江学に集う
近江学フォーラム・会員限定講座
— 会員制・年会費5000円 —

近江学に集う

キリトリ

郵便はがき

お手数ですが
切手をお貼りください

520-0248

滋賀県大津市仰木の里東4-3-1

成安造形大学

附属近江学研究所

公開講座係 行



大津市堅田地域 | 写真: 真下武久

会員特典1 会員限定講座

6月1日[土]

A 近江の「惣」—堅田惣荘と金森寺内町—

講師: 草野顕之 氏 | 大谷大学名誉教授

〔講演内容〕

近江は真宗王国と呼ばれるほどに、県内各地で浄土真宗の大きな寺院を見ることができます。その元をつくりあげたのが蓮如上人です。その蓮如が京都の本願寺を離れ、近江に入ってはじめに拠点としたのが、堅田と金森です。また、浄土真宗の集落は、これらの集落に代表されるように、「寺内町」という信仰でつながる深いコミュニティがありました。草野先生にはご専門の視点で中世の強いコミュニティを語っていただきます。



堅田から遠く比叡山を望む | 写真: 真下武久

7月27日[土]

B 惣—私たちの公—

講師: 水本邦彦 氏 | 歴史学者・京都府立大学名誉教授

〔講演内容〕

日本において、14世紀ごろから19世紀後半にかけて、「惣」という社会組織(コミュニティ)が作られ、機能した時代がありました。そこには、必ずといって良いほどに、それぞれの惣に独自の「掟」が作られ、「私たちによる、私たちのための、そして私たちを縛る」いわゆる「公」として存在したのです。すなわち掟は村人が自ら作ったが、揺るぎない公として、絶対的な力を持っていたと解釈できます。水本先生には、今に伝わる古文書をもとに、掟でつながる江戸の村社会の姿を紐解いていただきます。



掟書と起請文。
「字川共有文書」(字川区蔵、水口歴史民俗資料館保管)
写真: 辻村耕司

9月28日[土]

C 旧瑞峯院方丈襖絵「堅田図」にみる中世堅田の暮らし

講師: 和田光生 氏 | 元大津市歴史博物館副館長・大谷大学非常勤講師

〔講演内容〕

京都大徳寺瑞峯院の旧方丈襖絵に「堅田図」という16世紀半ばの堅田集落が描かれていました。現在は、屏風に仕立て直され、東京の美術館が収蔵しています。その「堅田図」が描かれた当時の人々の姿から、当時の生業や生活の一部を、民俗学がご専門の和田先生に絵解きをしていただきます。人々だけでなく、牛や馬、水鳥などの動物、木造和船や漁業、三上山や沖島などの遠景など、細部にわたって興味深いもので溢れています。



琵琶湖大橋から今堅田、比叡山をながめる | 写真: 辻村耕司

12月7日[土]

D 水・山と暮らす—近江における近世の村落

講師: 東 幸代 氏 | 滋賀県立大学教授

〔講演内容〕

東先生には近世の自治的な集落を紹介していただきます。当時は、水を必要とする農業も、山と深く結びついており、水と山の資源を巡っての争論が発生していました。その権利に関する判断は、通常の裁判を通して下されますが、時に「鉄火裁判」なるものも行われたと言います。一度、裁判で決まったことは、文章や石碑などに記され、後世に再度揉め事が起こらないようにという願いが込められていたようです。



「ムラ・ノラ・ヤマ」の景観(東近江市) | 写真: 辻村耕司

3月8日[土]

E 『惣』から、『座』、『講』へ—近江学研究所のこれから

講師: 加藤賢治 | 本学教授・近江学研究所副所長

石川 亮 | 本学准教授・近江学研究所研究員 ほか

〔講演内容〕

2023年度から始まった、地域に残されたコミュニティを検証し、未来社会に如何に伝え残していくか、そして、「座」なりわいのコミュニティとは何か、そして「講」趣味や嗜好によってつながるコミュニティとは…。現在、コミュニティをテーマに研究活動を行なっている研究者が集まり、近江学におけるコミュニティ研究の概観と、現代社会におけるコミュニティについて語ります。



御宮神社(東近江市) | 写真: 辻村耕司

F 会員限定 現地研修の参加

10月26日〔土〕開催 ※別途有料

「伝説の宝庫 堅田を歩く」

古代の天津市堅田地区は、比叡山延暦寺の領地で、京都下鴨神社の御屋（神様に献上する湖の幸を獲得する場所）でした。中世には自治が確立し、身分を超えて堅田衆が一つとなって、交通の要衝を護り、富を得て栄えました。また、浄土真宗中興の祖蓮如上人がその礎をこの地で築き、一休宗純もここで悟りを得たといいます。他にも様々な歴史上の人物がこの地を訪れ、ともなっで多くの伝説がこの地に伝え残されています。浮御堂、本福寺、光徳寺、祥瑞寺、天然図画亭などに伝わる歴史や伝説を訪ね歩き、古代、中世、近世、それぞれの時代を追体験してみたいと思います。



浮御堂と堅田の町 | 写真：(公社)びわこビジターズビューロー

文化誌『近江学』第15号「特集—惣 はじまりのコミュニティ」を無料進呈



近江学第15号

今号の特集は「惣 はじまりのコミュニティ」。―「堅田図」に描かれた琵琶湖 岸の集落景観と人々の暮らしの姿、山の利用権をめぐる争論において神前で熟した鉄斧を握って勝利した村代表を顕彰する記念碑、琵琶湖の有人島・沖島や比良山麓の天津市守山地区における新旧住民の交流による新たなコミュニティの創出など、地縁コミュニティの歴史と現状を考える。

文化誌『近江学』第15号「特集—惣 はじまりのコミュニティ」目次

- ・「惣・座・講研究―櫓の経験から惣へ―」加藤賢治、石川 亮
- ・「旧瑞峯院方丈襖絵「堅田図」にみる中世堅田の暮らし」小畠善通、和田光生
- ・「近江の「惣」―堅田惣荘と金森寺内町―」草野顕之
- ・「惣―私たちの公―」水本邦彦
- ・「近江の惣村」水野章二
- ・「水・山と暮らす―近江における近世の村落」東 幸代
- ・「人と自然が織りなすコミュニティ」今森光彦
- ・「犬上川、川上と川下のコミュニティ」石川 亮
- ・「天津市守山地区の自主防災をもとにつながるコミュニティ」深町加津枝、大原歩
- ・「神島の新しい波、新しい風」田口真太郎
- ・「エン景―遠／縁」真下武久
- ・「地藏盆と野神祭り 天津市今堅田一丁目の伝統的な地縁コミュニティの現状」加藤賢治
- ・「惣的な結合」木村至宏

発行：成安造形大学附属近江学研究所
〒520-0248 滋賀県天津市仰木の里東4-3-1
発行人：小畠善通
編集長：小畠善通
デザイン：塩谷啓悟 | <http://shiotanikeigo.com/>
編集：玉置慎輔
校正：岸田幸治（サンライズ出版株式会社）
印刷：宮川印刷株式会社
発売元：サンライズ出版株式会社
〒522-0004 滋賀県彦根市鳥居本町655-1
TEL：0749-22-0627
発行部数：1,200部
定価：1,800円＋税
ISBN：978-4-88325-804-8

近江学研究所主催の
公開講座を
無料で受講可能

要申込。各講座（受講料500円）を
無料で受講できます。（特別公開講座は除く）
講座内容は、P4-5をご覧ください。

成安造形大学聴講生選考料免除

成安造形大学では、一部の選択科目を一般の社会人の方々にも受講いただける「聴講生制度」を実施しています。近江学フォーラム会員の方は、受講に必要な選考料（1万円）が免除されます。◎科目例 文化史、琵琶湖の民俗史など ※オンライン授業となる場合があります
《2024年度後期出願期間》：8月19日〔月〕～8月23日〔金〕
前期・通年の出願は前年度の2月に受付を行います。詳しくは成安造形大学 教学課（TEL 077-574-2113）までお問い合わせください。

近江学フォーラム会報誌
「近江通信紙」を
無料進呈

年間2回発行。
近江学研究所・大学の情報、
滋賀の文化情報などを掲載。



近江通信紙 vol.29

成安造形大学附属
図書館で書籍貸出が
利用できる会員証の発行

2024年度

「近江学フォーラム」

入会について

年会費

入会金：無料

※年会費は途中入会の場合も同額です。

◎個人会員 | 5,000円

◎学園会員 | 3,000円
（成安造形大学学生・卒業生及びその保護者、聚英会、
旧設置校卒業生、成安幼稚園卒園生）

◎家族会員 | 3,000円
個人会員・学園会員と生計を同一にするご家族の方は、「家族会員」にお申込みいただけます。
・家族会員は、「特典3文化誌「近江学」」の無料進呈はありません。
・送付物は、個人会員様のご住所に送付いたします。

◎法人・団体会員 | 10,000円
・会員証は法人・団体名で2枚発行。
・特典刊行物は2部進呈いたします。

入会手続

年会費を下記〔1〕〔2〕〔3〕のいずれかの方法でお支払ください。

〔1〕郵便振替／〔2〕銀行振込／〔3〕窓口支払

〔1〕郵便振替

- ・添付のゆうちょ銀行「払込取扱票」（下欄）に必要事項を記入し、
2024年度（2024年4月1日～2025年3月31日）の年会費を払込みください。
（恐れ入りますが、振込み手数料は各自ご負担ください）
- ・振込みいただく際の「受取書」または「受領証」をもって領収書に
代えさせていただきます。
※ゆうちょ銀行に口座をお持ちの方も添付のゆうちょ銀行「払込取扱票」を
ご使用ください。

〔2〕銀行振込

銀行振込を利用される方は、近江学研究所（077-574-2118）に
ご連絡ください。手続きに必要な書類を送付いたします。
※入会受付および入会資料の送付は、毎月末の入金確認後に行います。

〔3〕窓口支払

成安造形大学 本館棟1階 大学事務所内 近江学研究所にて
年会費をお支払いください。
受付時間 | 平日10時～16時（大学の学年暦により、休業日の場合があります。）

入会后お送りするもの

- 講座申込専用ハガキ（会員限定・公開講座兼用）
- 会員証
- 会員のしおり
- 特典刊行物（文化誌「近江学」・近江通信紙） など

2024年度「近江学フォーラム」入会用 ゆうちょ銀行「払込取扱票」

00		大阪		払 込 取 扱 票																			
		口 座 記 号 番 号		金 額		千 百 十 万 千 百 十 円																	
0		0		9		3		0		8		2		2		6		0		1		6	
加入者名		学校法人 京都成安学園										料 金		備 考									
通 信 欄		2024年度 近江学フォーラム入会申込書 ☒ 該当箇所にチェックください ☐ 個人会員 (5,000円) ☐ 家族会員 (3,000円) ☐ 法人会員 (10,000円) ☐ 学園会員 (3,000円) (☐ 本学学生・卒業生、及びその保護者 ☐ 聚英会) ご記入ください (☐ 旧設置校卒業生 ☐ 成安幼稚園卒園生) 《個人・学園会員》氏名／フリガナ () 年齢 () 性別 (男／女) 《家族会員》氏名／フリガナ () 年齢 () 性別 (男／女)・続柄 () 《法人会員》法人・団体名／フリガナ () 代表者氏名／フリガナ () 代表者役職名 ()																					
ご依頼人		おとこ (郵便番号 -) ※ おなまえ (電話番号 - -) 様										日 付 印											
裏面の注意事項をお読みください。 (ゆうちょ銀行) (承認番号 大第44574号) これより下部には何も記入しないでください。																							

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

切り取らないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0 0 9 3 0 8									
	2 2 6 0 1 6									
加入者名	学校法人 京都成安学園									
金額	千	百	十	万	千	百	十	円		
ご依頼人	おなまえ ※ 様									
料 金	(消費税込み) 日 付 印									
備 考										

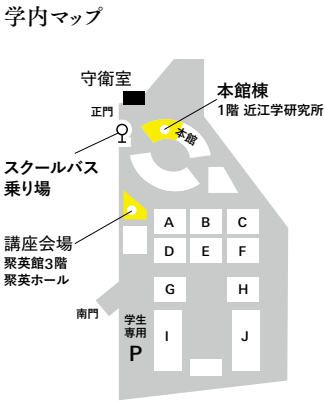
この受領証は、大切に保管してください。

お問合せ

〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東4-3-1
成安造形大学附属近江学研究所
Tel: 077-574-2118 | Fax: 077-574-2120 | E-mail: omigaku@scian.ac.jp
対応時間 | 平日9時-17時

アクセス

- ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。
- JR湖西線「おごと温泉」駅下車。琵琶湖側ロータリーからスクールバスまたは路線バスで約3-8分。
- ◎ JRご利用で、京都から20分・大阪から46分・神戸から65分の便利なアクセスです。
 - ◎ 大学の授業日等は駅前から無料のスクールバスをご利用いただけます。（1時間に2-4本程度運行）
 - ◎ スクールバス運休時（土日祝・長期休暇期間など）は路線バス〈94番系統（土日祝は97番系統）〉をご利用ください。
 - ◎ 路線バス（有料）をご利用いただく場合は「成安造形大学前」で下車してください。



近江学公式ホームページ

<https://omigaku.org/>



近江学 Twitter

<https://twitter.com/omigaku>



@omigaku

近江学 Instagram

https://www.instagram.com/omigaku_scian/



【 】
成安造形大学



- （ご注意）
- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
 - ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
 - ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
 - ・この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。
 - ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
 - ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には、何も記載しないでください。